

# 訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。  
お詫びして訂正いたします。  
(編集部)

## ■ 2008年1月号

### ● 特集

p.109 リスト1を右のリストAにさしかえ

### ● LED懐中電灯の製作

p.198 右↓23行目: IF → IFmax

p.199 右↓8行目: キャパシタを接続し → キャパシタ・モジュールを接続し

### ● dsPIC用OSの製作

p.216 右↑4行目: 24 KB バイト → 24 K バイト

p.217 図4の左上のふきだし: 外部から5 V, 100 mA を給電 → 外部から, 1000 mA を給電

p.218 図6の上から二つめのふきだし: 1036 ms ごとに… → 1034 ms ごとに…

p.219 左↑1行目: 1036 ms ごとに… → 1034 ms ごとに…

p.219 右↓1行目: 36 ms → 34 ms

p.219～222 リスト1～リスト7の改訂版をトランジスタ技術のウェブ・ページに掲載する予定です。

## リストA

```
*****
; Filename:      CMPOSC629.asm
; コンパレータ内蔵の32k～20MHzクロック発生器
; 本プログラムの設定では8～20MHzのクリスタルまたはセラミック振動子に対応
;*****

        list           p=12f629
        #include <p12f629.inc>
        errorLevel    -302

        _CONFIG      _CP_ON & _CPD_OFF & _BODEN_ON & _MCLRE_ON & _WDT_OFF &
        _PWRTE_ON & _HS_OSC

;
; 上の行の末尾_HS_OSCを変えることによって他の振動子に対応可能(本文参照)
;

ORG     0

call    0x3FF          ; 内部発振器の校正値を得る
bsf     STATUS,RP0    ; bank 1
movwf  OSCCAL         ; 校正値をセット

movlw   b'00001011'   ; 0:CIN+, 1:CIN-, 2:COUT, 3:RESET,
                    ; 4:CLKOUT, 5:CLKIN
movwf  TRISIO         ;
bcf     STATUS,RP0    ; bank 0

movlw   b'00000001'   ; GP2 をコンパレータが使用
movwf  CMCON
goto   $

END
```

### ● ワンポイント解説

p.255 左↓2行目: 図4(a) → 図3

(a), 左↓9行目: 図4(b) → 図3(b)

p.255 右↓4行目: 図5 → 図4